

雜 報

人 事

<p>岡山醫科大學助教授 關 正 次 本俸七級俸下賜</p> <p>岡山醫科大學助教授 柿 原 亨 本俸十級俸下賜</p> <p style="text-align: center;">(七月二十四日)</p> <p>衛生技師 武 波 晋 一 陞シテ高等官六等ヲ以テ待遇セラル</p> <p style="text-align: center;">(七月三十一日)</p> <p>陸軍二等軍醫正從五位勳四等 平 川 龍 造 任陸軍一等軍醫正</p> <p>陸軍三等軍醫正正六位勳四等 杉 山 龜 之 助 任陸軍二等軍醫正</p> <p>陸軍一等軍醫從六位勳六等 川 北 伊 勢 吉 任陸軍三等軍醫正</p> <p>陸軍二等軍醫從七位 高 市 太 加 一 任陸軍一等軍醫</p> <p>陸軍二等軍醫正 杉 山 龜 之 助 補靜岡衛戍病院長兼歩兵第三十四聯隊附</p> <p>陸軍一等軍醫正 平 川 龍 造 補下志津衛戍病院長</p> <p>久留米衛戍病院附 陸軍三等軍醫正 金 光 三 郎 補歩兵第七十七聯隊附</p> <p>東京第一衛戍病院附兼陸軍軍 醫學校教官陸軍二等軍醫正 平 野 林 補陸軍軍醫學校部員</p>	<p>陸軍三等軍醫正 川 北 伊 勢 吉 補歩兵第三聯隊附</p> <p>歩兵第二十八聯隊附 陸軍一等軍醫 久 保 田 正 治</p> <p>補第七師團軍醫部部員</p> <p>歩兵第七十三聯隊附 陸軍一等軍醫 田 村 權 五 郎</p> <p>補廣島衛戍病院附</p> <p>善通寺衛戍病院附 陸軍一等軍醫 高 市 太 加 一</p> <p>補歩兵第二十二聯隊附</p> <p>歩兵第四十聯隊附 陸軍二等軍醫 山 本 晴 造</p> <p>補陸軍造兵廠平壤兵器製造所廠員</p> <p>歩兵第四十聯隊附 陸軍一等軍醫 清 水 伸</p> <p>補歩兵第十聯隊附</p> <p style="text-align: right;">(八月一日)</p> <p>陸軍一等軍醫 丹 原 驥 夫</p> <p>陸軍一等軍醫 森 定 惠</p> <p>賜一等給</p> <p style="text-align: right;">(八月三日)</p> <p>岡山醫科大學助教授 池 上 馨 一 本俸一級俸下賜</p> <p>岡山醫科大學助教授 大 熊 泰 治 本俸七級俸下賜</p> <p style="text-align: right;">(八月十八日)</p> <p>敘從五位 正六位 柿 沼 昊 作</p> <p style="text-align: right;">(七月十五日)</p>
--	---

○高 原 滋 夫 君 は豫て岡山醫科大學耳鼻咽喉科に勤務し居られしか今般左記日本人病院に勤務せらるることとなり本月 10 日出發赴任せられたり

Japanese Hospital
Honolulu, Hawaii, U. S. A.

○村 上 隆 徳 君 は豫て岡山醫科大學に於て研究中なりしか今般大阪市北區扇町公園内北野病院に勤務せられたり

- 宮崎 尊君 は大正15年岡山醫科大學を卒業し直ちに同學柿沼内科教室に勤務し居られしが今般吳市濟生會病院に轉勤せられたり
- 喜多島慎一君 は今般岡山醫科大學柿沼内科教室を辭し日本赤十字社岡山病院に勤務せられたり
- 秋山成六君 は今般東京府下町田町玉川治療所を辭し同府下東中野町宮園通りに於て開業せられたり
- 山本太郎君 は今般大阪市友廣病院を辭し兵庫縣美方郡濱坂町に於て開業せられたり
- 野村 清君 は今般豊崎診療院を辭し大阪市北區國分寺町に於て開業せられたり
- 立花岩吉君 は昭和3年岡山醫科大學卒業以來同大學泉外科教室に勤務し居られしが今般辭職岡山市大黒町に於て開業せられたり

◎學位授與 豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られし西山逸平、岡田眞一、柳榮の3君は6月1日の教授會を通過し7月21日學位を授與せられ、末岡悟、吉田稻太郎、須藤五一郎、伊原重彦、村山高の5君は6月15日の教授會を通過し本月12日何れも學位を授與せられたり其主論文及び參考論文は左の如し

西 山 逸 平 君

主 論 文

大腸菌「アンテウイルス」ノ研究

- 其1 大腸菌「アンテウイルス」作用ノ試験管内實驗 (本誌第42年第2號ニ發表セリ)
- 其2 大腸菌「アンテウイルス」ニ據ル腹膜炎治療ノ實驗的研究 (本誌第42年第3號ニ發表セリ)
- 其3 其免疫學的關係 其1 (本誌第42年第8號ニ發表セリ)
- 其4 其免疫學的關係 其2 (本誌第43年第1號ニ發表セリ)
- 其5 其生物學的研究 (本誌第43年第3號ニ發表セリ)

參 考 論 文

- 1. 組織内結核菌複染色法ニ就テ (本誌第39年第8號ニ發表セリ)
- 2. 出血乳房ニ就テ (本誌第40年第7號ニ發表セリ)
- 3. 所謂「ボトリオミコーゼ」ニ就テ (本誌第43年第7號ニ發表セリ)
- 4. 異常血管領域ニ限局セル腎結核症ニ就キテ (本誌第429號ニ發表セリ)

岡 田 眞 一 君

主 論 文

腎被膜剝離ガ腎細胞生體染色ニ及ボス影響ニ就テ (本誌第43年第2號ニ發表セリ)

參 考 論 文

- 1. 腎臟生體染色ニ及ボス「フロリジン」ノ影響 (本誌第43年第3號ニ發表セリ)
- 2. 腎細胞生體染色ガ内臟神經及ビ腎神經叢ノ遮斷ニ由テ如何ニ影響サルルヤ (本誌第43年第2號ニ發表セリ)
- 3. 神經原纖維鍍銀法ノ一新法ニ就テ (フリオ、アナトミカ、ヤボニカ第7卷第4號ニ發表セリ)
- 4. 心筋ニ於ケル運動性神經終末ニ就テ (本誌第43年第2號ニ發表セリ)

5. 神經細胞ノゴルヂー氏装置ニ及ボス「コレステリン」竝ニ「レチチン」ノ影響ニ就テ（岡山醫科大學歐文業第1巻第4號ニ發表セリ）
6. 膽汁鬱滯ニ因ル神經細胞ノ變化殊ニ其ニツスル氏小體及ビゴルヂー氏装置ノ變化ニ就テ（本誌第43年第4號ニ發表セリ）

柳 榮 君

主 論 文

雞免疫血清ニ關スル血清學的研究特ニ被働性過敏症竝ニ補體結合反應ニ就テ（昭和6年5月倉敷中央病院年報第5號ニ發表セリ）

參 考 論 文

- I, 1. 血清ノ膠質安定度ニ就テ（第1回報告）特ニ血清ノ膠質安定度ニヨル妊娠ノ早期診斷法
附. 赤血球沈降速度トノ關係ニ就テ（本多操, 柳榮共著 近畿婦人科學會雜誌第11巻第3號ニ發表セリ）
- I, 2. 血清ノ膠質安定度ニヨル妊娠ノ早期診斷法（第2回報告）（本多操, 柳榮共著 昭和4年4月倉敷中央病院年報第3號ニ發表セリ）
2. 各種微毒血清反應比較試験（柳榮, 駒原一元共著 昭和3年6月倉敷中央病院年報第1號ニ發表セリ）
3. 氣候ノ手術後體温ニ及ボス影響（昭和2年6月倉敷中央病院年報第1號ニ發表セリ）
4. 先天性腔横中隔ニ就テ（臨牀産科婦人科第3巻第5號ニ發表セリ）
5. 交隣性腔壁裂傷ノ1例（昭和4年4月倉敷中央病院年報第3號ニ發表セリ）
6. 子宮破裂ノ1例（グレンツゲビート第1年第12號ニ發表セリ）
7. 止血劑トシテノ濃厚枸橼酸曹達第1回報告（臨牀的報告）（本多操, 中堀慶一郎, 柳榮共著）（治療及處方第102號ニ發表セリ）

末 岡 悟 君

主 論 文

體温調節中樞ニ關スル實驗的研究 第1報 神經中樞ノ2,3刺戟竝ニ遮斷ノ體內熱經理ニ及ボス影響（本誌第43年第1號ニ發表セリ）

第2報 骨骼筋ノ熱成生機能ニ就テ（本誌第43年第5號ニ發表セリ）

第3報 消化腺就中肝臟ノ温熱成生機能ニ就テ（本誌第43年第6號ニ發表セリ）

參 考 論 文

1. 1年有餘生存セル脊髓横斷犬ノ1例（追テ本誌ニ發表ノ豫定）
2. 外科的結核症ノ血清「リパノーゼ」含有量竝ニ之ト赤血球沈降反應トノ關係ニ就テ（本誌第42年第2號ニ發表セリ）
3. 外科的結核ノ「ツベルクリン」療法（フリツシュ及アイゼルスベルヒ氏法）（グレンツゲビート第3年第6號ニ發表セリ）

吉 田 稻 太 郎 君

主 論 文

肝臟「ヂストマ」病家兎肝臟ニ於ケル尿酸々化酵素ニ關スル實驗的研究 (第1回報告) (本誌第43
年第3號ニ發表セリ)

同 (第2回報告) (同上誌ニ發表セリ)

參 考 論 文

1. 胎兒顛頂骨ニ於ケル「カルチウム」及ビ磷含量ニ就テ (岡山醫科大學歐文業府第2卷第3號
ニ發表セリ)
2. 家兎絶對飢餓及ビ餓屍ニ於ケル尿竝ニ血液ノ無機鹽類ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
3. 硫化水素中毒家兎ノ尿ニ於ケル2, 3物質ノ變化ニ就テ (吉田稻太郎, 上野博共著) (追テ本
誌ニ發表ノ豫定)

須 藤 五 一 郎 君

主 論 文

麻痺性癡呆發熱療法ノ本態ニ關スル研究

其1 「マラリア」移植ヲ經タル麻痺性癡呆腦髓ノ變化ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

其2 黴毒家兎舉丸ニ對スル鼠咬症「スピロヘータ」療法ノ影響ニ就テ

附. 麻痺性癡呆發熱療法ノ解剖學的根據ニ就テノ考察 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

參 考 論 文

1. 家兎自然一新腦炎所謂岡山B型ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
2. 筋強直證狀ヲ示セル慢性流行性腦炎 (神經學雜誌第32卷第2號ニ發表セリ)
3. 過去7箇年ニ於ケル「マラリア」療法ノ成績 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
4. 汎硬腦膜炎ニ關スル知見 (須藤五一郎, 西村慶次共著) (神經學雜誌第28卷第7號ニ發表セリ)

伊 原 重 彦 君

主 論 文

水銀中毒ノ實驗的研究

其1 第1回報告 (本誌第43年第1號ニ發表セリ)

其2 第2回報告 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

參 考 論 文

1. 水銀蒸氣ノ臟器酵素ニ及ボス影響ニ就テノ實驗的研究 (中井良平, 勝野勝, 伊原重彦共著)
(本誌第43年第5號ニ發表セリ)
2. 鼠咬症「スピロヘータ」ヲ以テセル變形黴毒治療ノ實驗的研究 (神經學雜誌第27年第2號ニ發
表セリ)
3. 一自殺例ノ考察 (神經學雜誌第29卷第6號ニ發表セリ)

4. 蒼鉛劑ノ黃疸出血性「スピロヘータ」及ビ鼠咬症「スピロヘータ」ニ及ボス作用ニ就テノ實驗的研究 (田川禪太郎, 伊原重彦共著) (實地醫家ト臨牀第6卷第11號ニ發表セリ)

村 山 高 君

主 論 文

膀胱原基ノ發生ニ關スル研究

- 其1 鳥類特ニ家鳩ニ於ケル檢索 (本誌第42年第11號ニ發表セリ)
 其2 鳥類特ニ十姉妹ニ於ケル檢索 (岡山醫科大學歐文業府第2卷第2號ニ發表セリ)
 其3 哺乳動物特ニ豚胎兒ニ於ケル檢索 (本誌第43年第3號ニ發表セリ)

參 考 論 文

1. 胃液酸曲線ニ就テ 附. 空腹時胃内容ニ就テ (本誌第40年第3號ニ發表セリ)
 2. 胃原基ノ形態學的發生ニ就テ
 鳥類特ニ家鳩ニ於ケル檢索 (岡山醫科大學歐文業府第2卷第2號ニ發表セリ)
 3. 肺臟原基ノ形態學的發生ニ就テ
 鳥類特ニ家鳩ニ於ケル檢索 (村山高, 藥師寺忠志共著) (本誌第43年第8號ニ發表セリ)
 4. 酸及ビ「アルカリ」排泄能力ニヨル腎臟機能檢査ニ就テ (村山高, 横山丈夫共著) (本誌第39年第9號ニ發表セリ)
 5. 岡山縣立高松農學校寄宿舎ニ發生セル猩紅熱ノ臨牀的觀察. 特ニ其ノ血液像ニ就テ (村山高 福田豊, 正木忠生共著) (本誌第40年第10號ニ發表セリ)

◎神戸通信 十日會例會 8月十日會例會を須磨區と聯合にて9日(日曜日)有馬溫泉兵衛川別荘に開く, 午後1時頃より清遊を兼ね, 中には家族同伴の方々もある等, ゆつくりした氣分で來會さるるもの39名に達した. 7時より開宴, 一同涼味と酒氣と美形とを滿喫し11時頃各自散會す.

尙ほ當日岡山醫科大學産婦人科教室熊谷藏之允君の偶然の御來遊を得たことを附記す.

因に出席者は

内田綱太郎	小澤 清躬	橘 義一	馬詰 征平	中村 松男	山本 陸次
岩本 靜夫	足高萬太郎	星島 卓爾	林 孝彦	河合 忠義	赤岩 亨二
三上 達郎	勝呂 學	藤原 政雄	富山 四郎	人見楠右衛門	高橋 四郎
佐野 實	宮原 正康	高祖 敏雅	清水 勝男	和田 精才	水田 泰了
緒方 顯孝	結緣 主計	山中 豐二	熊谷藏之允	本城 定男	前田 三郎
日並 溫和	鷓 山 君	中村 四郎	野津 芳孝	田村祐三郎	仁木 久雄
鎌田維三郎	戸田 亨	渡邊 傳二		(幹事 戸田, 渡邊)	

◎岡山醫學會第339回通常會

同會は本年9月17日午後4時より岡山醫科大學に於て開會の筈なり